

仕様書作成における留意点と 新機能の概要について

平成13年度総合目録データベース実務
研修図書館システム担当者コース

A班(青木・加藤・富田・星野)

仕様書作成の留意点

- あいまいな表現をやめる
- 共通で利用するものと各アプリケーションごとの項目を体系づけ、整理・統合した

利用者向け情報検索機能の強化

機能強化の要点

- 多角的検索方法(データアクセス)の提供
 - ディレクトリ型検索機能
 - キーワード登録による自動アラート
- パーソナルユースな利用環境の提供
 - My OPAC(検索画面のカスタマイズ)
 - My Shelf
 - i-mode対応
- 参考資料リストDB

ディレクトリ検索

- ブラウジングライクな検索を実現
- 視覚的なキーワード展開
- 自然言語解析から検索

- 図書館情報大学

<http://avalon.ulis.ac.jp/DLsystem/mb/input.html>

キーワード登録による自動アラート

- My OPAC上で事前に登録したキーワードから、新着資料の目録情報を自動検索・配信
・お気に入りリストの自動生成
- 目録情報に限らず、オンラインジャーナルのコンテンツ検索も実現

My OPAC

- OPAC画面のカスタマイズ
 - 検索パターンの登録
 - 過去の検索履歴の保存
 - 個人の各種依頼情報の照会
 - お気に入り・お勧めの自動生成
 - 自動生成されたキーワードによる、個人ごとのお勧め資料リストの作成

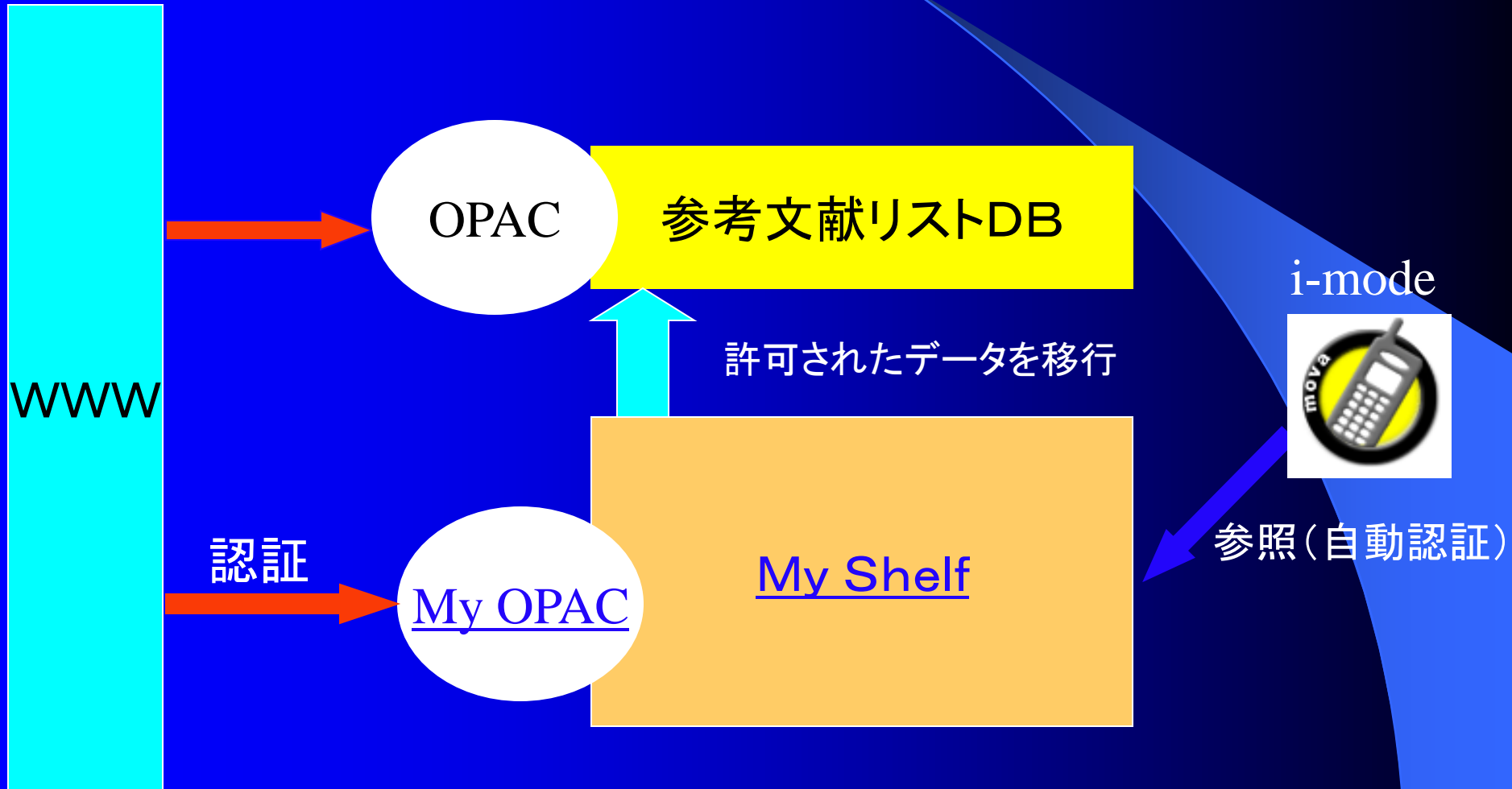
My OPAC

- 研究室にいながら、自分の書棚が・・・
My Shelf機能
登録資料の状態も確認可能
- i-mode利用による「どこでも書架」
 - ・PCのない環境でもすぐに確認可能
 - ・自動認証と検索不要のリスト参照

参考資料リストデータベース

- My Shelfの二次利用
 - ・参照可・不可指定により、他者の閲覧を可能に・・・
 - ・教官による、学生向け参考資料リスト
 - ・学生による学生のための論文作成参考資料リスト
 - ・データ蓄積による、知的財産のデータベース化(My Shelfからデータの移行)
 - ・被リスト資料のランキング化

利用イメージ



実装にあたって

- 運用上の検討事項
 - ・規則・認証方法のルール化
 - ・対象範囲(学内?)
 - ・データの保持期間
- システム上の整備
 - ・利用者の使用するディスク容量の確保